

提案者名()

<記入上の注意>

- ・対応の欄には、次のいずれかを記入すること。
 - ：標準仕様で対応可能
 - △：カスタマイズ又は代替案で対応可能（具体的な代替案を備考欄に記載すること）
 - ×：対応不可
- ・備考欄には、補足説明や対応内容、代替案、対応しない理由などを記入すること。別紙による説明等も可とする。

項目	機能要求事項	重要度	対応	備考 (特記事項、代替案等)	
基本要件	1	国内にデータセンターを設置するクラウド型のサービスで、10GB以上のデータを保存することができる容量を確保すること。また、将来的にクラウドサーバーに保存できるデータ容量の追加にも対応できること。なお、会議システムの運用に支障のない十分なスペックを有するサーバー機等で構成されていること。	高		
	2	システムがWindows、Android及びiOSの各OSに対応していること。また、OSが混在していても動作すること。	高		
	3	システムの積極的なバージョンアップを図るとともに、各OSの環境変化等に対応できる仕組みであること。なお、当該バージョンアップに係る本市の負担（作業量）が少ないよう配慮すること。また、システムのバージョンアップがある場合は随時、無償で最新版を提供し、その費用は原則として無料とすること。	高		
	4	タブレットの通信回線及びWi-Fi環境を通じ、いつでもシステム上に登録した資料を参照できること。	高		
	5	電話またはメールによる問い合わせや操作支援等が可能なサポート窓口を設置し、緊急時には営業時間外においても迅速に対応可能とすること。	高		
	6	文書ファイルがインターネット上等に流出することがないように、通信の暗号化や、クラウドサーバへの不正アクセスや情報漏えい、ウイルス感染などに対するセキュリティ対策及びデータ復元機能が講じられていること。	高		
	7	ユーザーごとにID、パスワードを設定し、管理者が利用者ごとに操作・閲覧権限を設定できること。また、利用者の操作・閲覧可能な範囲を限定できること。	高		
	8	クライアントユーザーは30アカウント以上の登録ができ、その全てが同時にサーバにアクセスしても支障なく会議を行うことができるとし、管理者権限は3アカウント以上設定できること。	高		
	9	アカウント数を必要に応じて増減ができること。また、選挙による議員の入れ替えや人事異動による職員の入れ替えなどによる利用者の変更も柔軟に対応可能であること。	高		
	10	ユーザーを細かくグループに分けて管理できること。また、部署ごとやグループごとに文書の閲覧権限を管理できること。	高		
	11	会議資料（議案書、委員会資料、案内通知その他付随する文書）を会議システム上にアップロードでき、PDF形式の文書ファイルで登録できること。	高		
	12	文書ファイル及びフォルダは整理・分類・管理・削除が容易にできるとともに、フォルダは5階層以上の階層化ができること。	高		
文書の登録等	13	管理者は、簡単な操作でPCから資料のアップロードができること。また、資料の差し替えや削除も随時可能であること。	高		
	14	文書ファイルごとに保存の可否、印刷の可否が設定できること。	高		

項目	機能要求事項	重要度	対応	備考 (特記事項、代替案等)	
文書ファイルの閲覧・閲覧補助	15	サムネイルによるページの一覧表示ができること。また、サムネイルを利用して、ページ移動ができること。	中		
	16	PDFに設定された「もくじ」を表示できること。また、「もくじ」を利用してページ移動ができること。	中		
	17	左右ページを併せた見開き表示ができること。また、見開き表示、単ページ表示を随時切り替えられること。さらに、画面を分割して、2つの文書の比較ができること。	高		
	18	会議システムと他のアプリと組み合わせての表示ができること。	高		
	19	別途提示する環境で、500ページの文書ファイルを開いた場合でも、閲覧しようとする任意のページをストレスなく表示できること。	高		
	20	拡大縮小表示が自在にできること。	高		
	21	文書ファイルに、電子ペン等による手書きやキーボード入力によるメモの書き込み、画像及びテキストの貼り付けができ、ユーザーごとに保存できること。	高		
	22	文書の修正や差替えがあっても、各種メモの情報を引き継ぐことができること。	高		
	23	手書きメモはIDごとに管理され、同一IDであれば、異なる端末からでも同じ内容が見られること。	高		
	24	しおり機能を使って、素早く文書を探すことができること。また、しおり等は複数の文書にまたがって設定できること。	高		
25	議事事務局側で会議の説明者の切り替えや説明資料の指定をすることができ、会議参加者が自ら操作することなく参加者の画面に説明者が操作する画面が表示できること。	中			
文書の検索	26	文書の本文テキストデータが、検索用データベースに自動的に登録されること。	中		
	27	閲覧権限のある全ての文書を対象に、一括して横断的な検索ができること。	高		
	28	「最近見た文書」の履歴を呼び出す機能があること。また、履歴を利用して、文書を開くことができること。	中		